

〈工事後〉



## 郷土種の苗を使い、のり面を樹林化 地域にとけ込む「エコロード」をめざす

——中日本高速道路株式会社



〈工事中〉

### のり面の樹林化

地域性苗木を使って、圏央道八王子JCT付近に植栽し、9年経過して周辺の緑に溶け込んでいます。



地域性苗木  
ユニット苗  
(シロダモ)



地域社会との協働について語る環境チームサブリーダーの大岩春仁さん

森をささえよう

森と暮らそう

中日本高速道路株式会社(以下、NEXCO中日本)は、昨年6月に「フォレスト・サポーターズ」の主旨に賛同し、メンバーの一員となりました。同社が管理する高速道路ののり面(道路側の斜面)のうち1274ヘクタールが樹林化されています。

樹林化にあたっては、高速道路周辺で採取した種から育てた「地域性苗木」を使った植栽を行うなど、地域の環境に溶け込む「エコロード」を目指しています。「フォレスト・サポーターズ」としてのさまざまな取組について環境・技術部環境チームサブリーダーの大岩さんに聞きました。

带状に長く伸びる高速道路は、周辺の環境や景観に大きな影響を及ぼします。NEXCO中日本(旧日本道路公団)は、名神高速道路が建設された昭和30年代から、道路建設に伴ってできるのり面の緑化に取り組んできました。

名神高速道路が建設された直後は、のり面の土が剥き出しの状態になっていました。そこに種子を散布し、緑化工事を行い、更に周辺の樹木から種が飛んできて今では、緑に覆われています。

しかし、緑化を始めた当初は、市場で調達できる苗の品種が限られていたため、植栽した苗が高速道路周辺の気候に合わないこともありまし

た。そこで、自社の石部植栽場(現・グループ会社の緑化技術センター)で、植栽向けの植物の研究・開発を独自に進めてきました。

そうして生まれたのが、高速道路の周辺地域に自生する樹木の種子から育てた「地域性苗木」です。平成8年から出荷を開始し、平成21年度末までに、全国のNEXCO高速道路会社に約200種、75万本を出荷しました。地域性苗木を使つてのり面の樹林化を行なうことで、地域の生態系・種・遺伝子の保全にも寄与することができます。実際に、高速道路を上空から見ると、側面には緑が带状につながる「グリーンベルト」

## フォレスト・サポーターズ 4つのアクション 活動紹介



**高速道路事業で発生する木材の有効活用**  
木材を使ったチェーンソーアート作品を東海地域の休憩施設に展示し、COP10の広報活動をしています。



立入防止柵に木材を有効活用

**ハイウェイ  
緑の里プロジェクト**  
地域の自治会や企業、学校と連携し、高速道路で、植栽を行なっています。



**緑のリサイクル**  
伐採した樹木の根株や、樹林の手入れで発生する枝葉などから堆肥を作り、のり面緑化の基盤材としても活用しています(新東名高速道路)



### 今日からやろう! 森のための 4つのアクション

#### 森にふれよう

#### 木をつかおう

となっており、樹林の復元に伴って、鳥や昆虫などの生物が周辺地域から移動し、定着する所も出てきました。

こうしてできた樹林を良好な状態で維持・管理するためには、樹木の剪定や草刈りをしなくてはなりません。その際に発生する刈草や剪定枝葉、また道路建設のために伐採した樹木の根株などから堆肥を作り、植栽の基盤材として使用したり、チップ化してマルチングに役立てる「緑のリサイクル」を、自社リサイクルプラントで行ない「道路から出たものは道路に還す」という循環系を作ることに取り組んでいます。さらに、高速道路事業で発生する木材は、サービスイリアに置くチェーンソーアートや、立入防止柵などの材料に有効活用しています。

高速道路の緑は、同時に地域の緑でもあります。そこで、地域社会との協働によって緑化を進めるために、平成19年5月から始まったのが「ハイウェイ緑の里プロジェクト」です。地域の自治会や企業、学校と連携し、インターチェンジやのり面に樹木や草花を植えていただき、地域や高速道路の美化を行ないます。平成21年度末までに合計18カ所で活動を行ないました。もともと、地域性苗木の種子の採取で地域住民の協力を得ていましたが、市民、行政、企業が、それぞれの立場でできることを提供し合い、緑を保全するという協働のスタイルが生み出されつつあります。

今年は、NEXCO中日本のある愛知県名古屋市中で「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」が開催されます。名古屋市中では昨春秋から、COP10に向けて、さまざまな関連イベントが行なわれており、NEXCO中日本も、これらのイベントに積極的に協力・参加して、生物多様性の保全に関わる取組を紹介しています。COP10開催をきっかけとして、ますます地域と協働した活動を継続していきたいと考えています。

今後は、地域の景観にマッチした樹林化や今ある樹林の間伐等を進め、地球温暖化の防止や生物多様性の保全に貢献したいと思っています。